



学校便り 琢磨

第15号 R2.8.20 三豊市立詫間小学校

今日から2学期です！

今年は19日間という短い夏休みでしたが、楽しい休みを過ごせたことと思います。

さて、8月中旬に2学期が始まるのは、三豊市内の小学校としては初めてです。まだまだ残暑が厳しい中での2学期のスタートとなりましたが、熱中症予防、新型コロナウイルス感染防止に気を付けながら、充実した学校生活を送ることができるよう、教職員、一丸となって2学期も取り組んでまいります。今学期もよろしくお願いいたします。

9月・10月の行事予定 感染拡大の状況等によって、変更する可能性があります。

9月18日(金) 授業参観…新型コロナ感染拡大防止のため、中止する方向で検討しています。

10月6日(火) 地区陸上記録会…現在のところ、実施する予定です。

10月7日(水) 秋の遠足…現在のところ感染防止対策を講じて、計画通り実施する予定です。

10月21日(水) リレー・鼓笛の公開…9月の授業参観が中止の場合、授業参観とリレーの公開を併せて行います。6年生の鼓笛の公開は、11月以降に延期します。

例：5校時 1,3,5年授業参観、2,4,6年リレー公開

6校時 2,4,6年授業参観、1,3,5年リレー公開

10月31日(土) 県選抜陸上大会(6年)…11月3日の5年の大会ともに、現在のところ、実施する予定と聞いております。

※ 夏休み校内作品展、運動会、全国陸上大会、地区音楽会、校内音楽会は、既にお知らせしているとおり、中止が決定しています。

5年生 デイキャンプを楽しむ！

7月30日(木)、31日(金) 5年生粟島への遠足・デイキャンプのアルバム



海のごみを調査しました！



海で思い切り遊びました！



プールでも思い切り遊びました！



芝生広場での花火！

水道のじゃ口は決して止めてはいけない！ ーその2ー

ところが、事件はその年の12月に起こってしまいました。私は、夜中に目を覚ましてトイレに行ったところ、流しのじゃ口から、ちょろちょろと水が流れ出ているのに気付きました。そこは、水不足の香川県人です。しっかりとじゃ口を閉めて、これは皆のためにいいことをしたと満足して眠ったのです。

翌朝、アパートの流しの辺りで、さわぐ住人の声で目を覚ましました。私が見た光景とは…。

私以外の住人が、このアパートに1つしかない流しの所に集まっていました。

「早く、お湯をわかせ！ そうだ、じゃ口にかけて！ まだ水は出ないか？ 次は直接、水道管だ！」

何と、室内の水道管が凍り付いてしまったのです。その原因は、私がじゃ口を閉めたからなのです。

「おい、真鍋。もしかして夜中に、水道のじゃ口を閉めなかったか？」

何のさわぎだろうと、流しの所に来た私に、大学4年生の野村先ばいが、こわい顔で聞きました。

「閉めたけど、それがどうかしたのですか？」

「バカやろう、こんな寒い日に水道のじゃ口を閉めたのか。夜の中に、水道管が凍り付いてしまったぞ。」

他の住人も、いっせいに私の顔をにらみついています。

「お前なあ、このはり紙、見えなかったのか？」

流しのかべの所には、11月の終わりまではなかった「凍結防止（とうけつぼうし）のため、冬の間は、水道の水を完全に止めないこと」と書かれたはり紙があるのに、その時初めて気が付いたのです。

「凍ったんですか？」

「お前が、凍らせたんだ。この辺りは、室内でも朝方は、氷点下になるんだぞ。流れていない水は凍ると学校で習わなかったのか？ 一度凍ると、水道管はその氷が溶けるまで、下手すると春まで、水は出ないんだ。今朝、凍り付いたばかりだから、まだ、間に合うかも知れない。お前は、部屋からドライヤーを持ってきて、この水道管を温めろ！」

私は、とんでもないことをしてしまったのです。香川県では、節水としてほめられる行いが、ここでは、大きな迷惑行いとなってしまったのです。私は、部屋からドライヤーを持ってきて、ガーッと、ガーッと、温風を水道管に当て続けました。他の住人は、お湯をじゃ口にかけて続けています。

やがて、ちょろちょろと細く、水がじゃ口から出始めました。そして、またたく間に、その流れは太くなり、やがて、勢いよくザーッと流れ出たのです。

「よし、もう大丈夫だ。良かった、間に合った。なあ、真鍋。これからは気を付けてくれよ。」

多少、優しくなった先ばいの言葉に、私はがくりと床にひざをついてしまったのです。冬の間は、水道のじゃ口は決して止めてはいけないということが、私の頭にたたき込まれたしゅん間でもありました。

ついでに、この町では、いろいろなことを学びました。寒い時は、暖房を入れていなければ、室内でもマイナス5℃くらいにはなりません。寝る前に飲み残したお茶をこたつの上に置いたままにしておくと、朝、凍っているということもありました。そうそう、こんなに寒いのに冬の間も、冷蔵庫は必需品です。冬の間、冷蔵庫は、冷やすためではなく、凍らせないために働いてくれるのです。冷蔵庫の中の方が、夜間の部屋より温度が高いのですから。

近くの銭湯（おふろ屋さん）から、髪を乾かさずに帰ると、家に着くまでに髪の毛がカチンコチンに凍り付いてしまいます。どこかに凍った髪をぶつけてしまうと、ポキンと髪の毛が折れてしまうこともありました。髪がとける（普通はこんな経験はしないが）と、折れた部分だけ、毛が無くなっているのです。

町の用水路には、1年中、水がゴウゴウと音を立てて流れています。富士山の雪解け水です。水道代は、当時、日本一安かった地域でした。冬の間、ずっと水道を止めなくても、香川県の水道代の10分の1くらいの値段しかしなかったと思います。

とにかく寒い町でした。冬の間は、寒すぎて眠れず、こたつの中で眠ったことも何度もありました。でも、この寒さに少し慣れた頃、私は、大嫌いだったこの町を「第二のふるさと」として愛するようになっていました。今、考えたら、本当に貴重な経験をさせていただいたと思います。